いかなるものゝまは百姓身持を能仕るべきこと
一村の内にても耕作に精をいれ身持よくはし
然上よく其村の一人あれば其まねを仕り候
中のものみなよくかせぐものは一郡の内
すてられずなる在所一村これあれば一郡
みな身のもちをかせぎ候は一国の民みな
豊になり其後は遠国までもそのひゞき

あり地頭がたるもの百姓は末代まで所の名
田を作とするものゝ身は身よく身持を能し
身上よく成候は百姓の大きなる徳分にて候
それなくはや毎又一ヶ月流なる無法の
一人あれば其郷皆その気になり百姓みな
まのごとくたえ候
公儀の御法度などを背候ては其身を奉行